

学 事 報 告

医学科

医学科長 竹 森 重

1. 本学の沿革

1881年5月1日、高木兼寛先生が京橋区鑓屋町11番地に成医会講習所を開設して西欧の医学を教授した。これが本学のはじまりである。

その後、東京慈恵医院医学校、東京慈恵医院医学専門学校を経て、1921年10月、東京慈恵会医科大学となった。

1951年3月、私立学校法が施行され、法人名を学校法人慈恵大学に改め、1952年4月より新制の東京慈恵会医科大学となった。

1956年4月、大学院医学研究科博士課程が設置され、1960年4月には医学進学課程が設置され、調布市国領の校舎で進学課程の教育が始まった。

1991年7月1日より学校教育法、大学設置基準等の改正が行われた。医学部の進学課程と専門課程が廃止されたこと、卒業時に与えられていた学士の称号が学士の学位として位置づけられたことなどが大きな改正点である。

これに伴い、本学においても進学課程、専門課程という名称は廃止され、6年一貫教育となった。

1996年度にはカリキュラムの改訂が行われ、講座の枠にとらわれない統合型カリキュラムが導入された。新カリキュラムでは、講義に加えて少人数教育が多く取り入れられ、新しいコース・ユニットが新設された。また、研究室配属など医学研究者としての能力の涵養にも配慮されている。

1999年度からは客観的臨床能力試験（OSCE）が導入され、より高い臨床能力の養成を目指している。

2001年度からは全国共用試験に参加し、4年生OSCE相互評価、CBT（コンピューターベースドテスト）も、全国に先がけて本学で実施した。

2010年度から医学研究者と研究マインドを持った医師の育成を目的として、3年次の研究室配属期間を3週間から6週間に延長した。

2012年度、文部科学省の補助事業（GP）「国際基準に対応した医学教育認証制度の確立」に、本学の「参加型臨床実習のための系統的教育の構築」が選定され、診療参加型臨床実習（クリニカルクラ-

クシップ）を拡充する大幅なカリキュラム改定を行った。また、2014年6月には医学教育分野別評価基準日本版に基づく外部評価トライアルを受審し、高い評価を受けた。2017年3月、一般社団法人日本医学教育評価機構（JACME）が国際認証されたことを受け、2017年5月、JACMEに本学の改善報告書を提出した。その結果、同年12月、医学教育分野別評価における正式な認定を受けた。（認定期間：2017年4月1日～2022年3月31日）

新カリキュラムは、2015年度4年次より開始され、全臨床実習週数は、前臨床体験実習・全科臨床実習・クリニカルクラクシップを含め、6年間で75週間に及ぶものとなった。2015年から国際標準に沿って診療参加型臨床実習 Clinical Clerkship を含めた臨床実習の拡充を行い、2017年度からは二日間にわたる卒業前の臨床実技試験としての Post-Clinical Clerkship OSCE を実施している。

なお、本学は2010年度以降、数多くの文部科学省GP事業の採択を受けており、これらは本学の教育が我が国の医学教育をリードするものとして高く評価されたものである。

また、文部科学省は、医師不足を鑑み、医師確保に係る実効ある取組を前提に定員増を認めることとなり、本学では2009年度から入学定員を100名から105名に増員した。さらに2011年度からは、地域の医師確保等の観点から東京都地域枠として5名を増員し、現在の入学定数は110名である。

2. 歴代校長ならびに学長

初代校長	高木 兼寛
二代校長	実吉 安純
初代学長	金杉英五郎
二代学長	高木 喜寛
三代学長	永山 武美
四代学長	寺田 正中
五代学長	矢崎 義夫
六代学長	樋口 一成
七代学長	名取 禮二

第八代学長 阿部 正和

第九代学長 岡村 哲夫

第十代学長 栗原 敏

第十一代学長 松藤 千弥

なお、松藤千弥学長は2019年4月1日付で再任（任期：3年間）された。また、橋本和弘副学長は同日付で再任（任期：2年間）され、柳澤裕之教授と大橋十也教授が副学長に就任（任期：2年間）した。

医学科長・教学委員長には竹森 重教授が就任（任期：3年間）した。

3. 卒業者

本年度卒業試験に合格し、「卒業証書・学位記」を授与された者は、109名、うち男子66名、女子43名である。1881年、本学創立以来の卒業生総数は13,798名となった。

4. 教職員ならびに学生数

2020年2月1日現在、医学科の教員数は1,428名で、その内訳は次の通りである。

名誉教授 32名

教授 174名

客員教授 160名

准教授 116名

講師 153名

助教 793名

一般職員数は4,163名である。

2020年2月1日現在の学生数は、医学研究科博士課程の大学院生161名、医学科学生670名である。

5. 教授・准教授任命

2019年度における講座担当教授の任命は次の通りである。

西村 理明

内科学講座（糖尿病・代謝・内分泌内科）

2019年4月1日付

この他、教授17名、客員教授17名、臨床専任教授4名、特任教授3名、准教授23名、特任准教授5名が任命された。

6. 賞状授与

慈大賞は6年間の成績最優秀者に授与される賞で、前年度までに76名に授与され、本年度は「山下博史」

に授与された。

同窓会賞は成績優秀者に授与される賞で「久保優芽佳」に授与された。

また、2003年度から成績優秀者に対し父兄会賞が設けられ、2017年度より保護者会賞に名称変更となり、「宮崎 藍」に授与された。

7. 大学院医学研究科医学系専攻博士課程修了者

2019年3月～2020年2月までの大学院修了者は30人で、大学院設置以来現在までの修了者は1,125人である。

8. 学位受領者

2019年3月～2020年2月までの学位受領者は大学院修了者を含め72人で、現在までに医学博士、または博士（医学）の学位を授与された総数は4,410人である。

9. 解剖体数

2019年10月28日、第115回解剖諸霊位供養法会が増上寺において執り行われた。前回の供養法会から1年間の解剖体数は、病理解剖88体、司法解剖と行政解剖を合わせた法医解剖855体、学生教育の教材としての系統解剖49体、計992体である。現在までの本学取扱い解剖体数は41,530体である。

10. 附属病院

1922年2月1日、東京病院が本学の附属病院となった。その後、1946年7月に青戸病院が葛飾区青戸に開設され、翌1947年4月には東京慈恵会医院が本学の附属病院として貸与された。1952年1月に都下狛江に第三病院が開設され、1987年4月には千葉県柏市に柏病院が開設された。2012年1月から青戸病院が葛飾医療センターとしてリニューアルオープンした。そして、2020年1月より附属病院（本院）の新外來棟および母子医療センター（N棟）がリニューアルオープンした。

附属病院の病床数は、本院：1,075床、葛飾医療センター：369床、第三病院：581床、柏病院：664床、合計2,689床である。

大学附属病院の初代院長は高木喜寛教授で、現在の附属病院長は井田博幸教授である。